

総括質疑並びに一般質問

【質問日】令和8年3月2日（月）

【個人質問】

質問 順位	質 問 者	質 問 事 項
1	今 塩 屋 裕 一	<p>1 スポーツによる交流人口の拡大と合宿誘致の戦略強化について</p> <p>(1) 近隣自治体の活躍を契機とした本市のスポーツ機運の醸成と、現在の合宿誘致の現状及び課題は</p> <p>(2) 猛暑対策としての夜間練習環境の整備拡充について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 陸上競技場等の照明設備整備を検討できないか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 熱中症対策を安全管理の観点から強化し、選ばれる合宿地として他都市との差別化を図れないか。</p> <p>(3) 合宿補助制度の拡充と付加価値の創出について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 現行の宿泊費補助に加え、練習会場への移動手段の確保や施設使用料減免などの支援拡充を検討できないか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 地元食材の提供や観光への誘導など、地域経済への波及効果を高める独自策を模索してはどうか。</p> <p>(4) トップアスリートや指導者の移住定住促進による地域活性化について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 熊本県菊陽町等の事例を参考に、著名な指導者や現役選手を地域おこし協力隊等で招致し、人材育成と定住促進を図れないか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ スケートボードやBMXなど若者に人気のアーバンスポーツの拠点化を目指し、指導者招致とセットで専用施設の整備・拡充を図るべきではないか。</p> <p>2 外国人材の戦略的受入れと川内港の活用について</p> <p>(1) 地域産業における人手不足の現状と、外国人材の雇用実態は</p> <p>(2) 東南アジア諸国の人材確保に向けた支援策について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 市内企業と現地送り出し機関とのマッチング機会を市が積極的に創出できないか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 受入企業の負担軽減のため、手続支援や翻訳マニュアル作成等の補助を検討できないか。</p> <p>(3) 重要港湾川内港のポテンシャルを生かした国際人材の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単なる労働力としてだけでなく、将来の物流・貿易の架け橋となる高度外国人材の誘致・育成に対するビジョンを伺う。 <p>(4) 外国人が定着するための住環境整備及び多文化共生の推進状況は</p>
2	屋 久 弘 文	<p>1 農道の市道認定について</p> <p>(1) 農道を市道認定する際に、何か基準があるか。あわせて、市独自の基準か、国等の方針等に基づくものなのか。</p> <p>(2) 平佐町の平佐ポンプ場付近の農道を市道に認定することに、基準上何か問題があるか。</p> <p>(3) 市独自で定めることのできる基準であれば、基準の緩和や特例を設けることはできないか。</p> <p>(4) 市道認定できないのであれば、所管を道路河川課に移管して、公衆用道路として管理できないか。</p>

		<p>(5) 市域を一斉に調査してみて、住宅地化しているような地域にある農道については、農道としての指定を外して、公衆用道路扱いとし、道路河川課で管理してはどうか。</p> <p>2 3号バイパス沿いの石灯籠の管理について</p> <p>(1) この石灯籠は、何基が、何の目的で設置され、管理はどこが行っているか。</p> <p>(2) 太陽光発電装置に取り換えたのはいつで、現状何基が点灯していないか。</p> <p>(3) 点灯していない石灯籠について、現状、何らかの対応がなされているか。</p> <p>(4) 点灯していない石灯籠について、太陽光発電装置を修繕するなど、何か対策は考えられないか。</p> <p>3 閉校した小・中学校の教職員住宅等の今後の利活用について</p> <p>(1) 平成16年の市町村合併以降、閉校した学校に何棟の教職員住宅があり、処分、未処分はそれぞれ何棟か。</p> <p>(2) 未処分の教職員住宅について、今後の具体的な処分方法は検討されているか。</p> <p>(3) 旧青瀬小学校の教職員住宅について、老朽化が進む前に、早急に処分を検討すべきではないか。</p> <p>(4) 他にもある未処分の教職員住宅についても、早急に処分方法を検討すべきではないか。</p> <p>(5) 関連して、廃園する公立幼稚園の処分は、どのように検討されているか。</p> <p>4 会計年度任用職員に係る制度廃止後の正規職員等の配置について</p> <p>(1) 2分の1勤務の月額会計年度任用職員は、今回の制度廃止で何人が減少するのか。</p> <p>(2) 4分の3勤務の月額会計年度任用職員で何人を補充するのか。</p> <p>(3) 今回の制度廃止に対応する正規職員の採用は、何人を予定しているか。</p> <p>(4) 減少する人数の中に、業務の廃止や縮小分があれば、その人数と、最終的にこれらで減少分を完全に補充できるのか。</p> <p>(5) 補充できないのであれば、早急に何らかの対応を図る必要はないか。</p>
3	坂口健太	<p>1 川内港と背後地の動向について</p> <p>(1) 川内港整備について伺う。</p> <p>(2) AIデータセンターについて伺う。</p> <p>(3) GX戦略地域について伺う。</p> <p>2 今後の行財政運営について</p> <p>(1) 市役所改革方針Ver3.0について、Ver2.0からバージョンアップした主な内容と、今後の方向性を示されたい。</p> <p>(2) 外郭団体の経営改革について、追加された背景と、市としての考え方を示されたい。</p> <p>3 地域コミュニティの再形成について</p> <p>(1) コミュニティ再形成の必要性について伺う。</p> <p>(2) 活動の担い手と参加の入り口を広げる制度・運営の再設計について伺う。</p> <p>(3) デジタル技術の活用により分断を生まない運用とEBPMIについて伺う。</p> <p>(4) 市立幼稚園を活用した地域住民の居場所づくりについて伺う。</p> <p>4 物価高騰対策について</p> <p>(1) 第9回補正における物価高騰対策の狙いと全体設計について伺う。</p> <p>(2) 今後に向けた物価高騰対策の検証について伺う。</p>

4	小林健	<p>1 川内火力発電所跡地のAIデータセンター開設に向けた動きについて</p> <p>(1) 開設に向けた動きがこれまで以上に具体化し、実務的な段階へと進みつつある中で、本市としてどのような効果や変化を見込んでいるのか。</p> <p>(2) 5者間で共有されている開設までの概略スケジュールや、現時点で想定されている主な行程、本市として把握している進行状況や今後の協議の見通しは</p> <p>2 非住宅系空きストックの把握と再活用について</p> <p>(1) 本市は非住宅系空き建物をどこまで把握しているのか。また、その未把握の理由と、防災・再活用の観点からの課題認識は</p> <p>(2) 廃業した店舗や病院などの非住宅建物を一元的に把握していない場合に生じ得る防災・安全・景観面のリスクをどう認識しているのか。また、現時点での課題をどう捉えているのか。</p> <p>(3) 本市として、廃業した店舗や病院など非住宅系空き建物の活用可能性を検討する考えはないか。さらに再活用を促すために所在・規模などの情報整理や任意登録制度の導入を検討する意向はないか。</p> <p>(4) 空き店舗や廃業した病院をデータセンター関連産業に再活用する可能性と、今後の検討方針について本市の認識は</p> <p>(5) 廃業した病院などを子育て支援施設として再活用する可能性と、そのような既存建物活用に対する現時点での本市の考えは</p> <p>3 現在の就労状況及び若者にとって魅力ある働く場に関するアンケートについて</p> <p>(1) アンケート結果を踏まえ、市が若者の希望する働き方・業種と現状の産業構造とのギャップをどのような課題として認識しているのか。</p> <p>(2) アンケート結果を踏まえ、若者が望む働き方・業種に応じた企業誘致や産業政策を今後どのように進めていくのか。また、結果を市内でどのように共有し、施策の検討・意思決定に反映していくのかについての本市の考えは</p>
---	-----	--